

果樹カメムシ情報第1号

平成27年4月6日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病虫害防除室

果樹カメムシの飛来数は6月末までやや少ない

1 平成27年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度調査結果

果樹カメムシ類の主要種であるチャバネアオカメムシ（図1）の越冬成虫密度調査を県内15地点で行った結果、平均越冬成虫密度は0.04頭/㎡（過去10年の平均値1.1頭/㎡）、越冬成虫の確認地点割合は13%（過去10年の平均値45%）で、いずれも過去10年と比較し8番目でした（表）。

2 越冬成虫密度と予察灯における誘殺数との関係

過去10年の調査結果から、越冬成虫密度が低い年は、5月から6月までの果樹カメムシ類発生量の目安となる予察灯における越冬成虫の誘殺数が少なくなる傾向があります（図2）。

3 平成27年の飛来数予測

今年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度調査結果から、越冬成虫の発生量はやや少なく、果樹カメムシ類の果樹園への飛来数は6月末までやや少ないと予測します。

表 平成27年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度（頭/㎡）

調査年	調査地点														全地点の平均	発生確認の地点割合	
	幸田町		新城市				豊橋市				豊川市						
	須美北山北	須美北山東	大海	市川	中宇利	稲木	嵩山	石巻中山	石巻萩平	石巻平野	小野田	平尾	千両	足山田			金沢
平成27年	0	0	0	0.3	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.04	13%
平年	1.7	0.9	9.9	3.6	12.2	2.7	1.4	0	0.8	6.8	3.8	0.6	1.3	1.7	3.1	1.12	45%

平年：平成17年から平成26年までの過去10年の平均値。



図1 チャバネアオカメムシ成虫

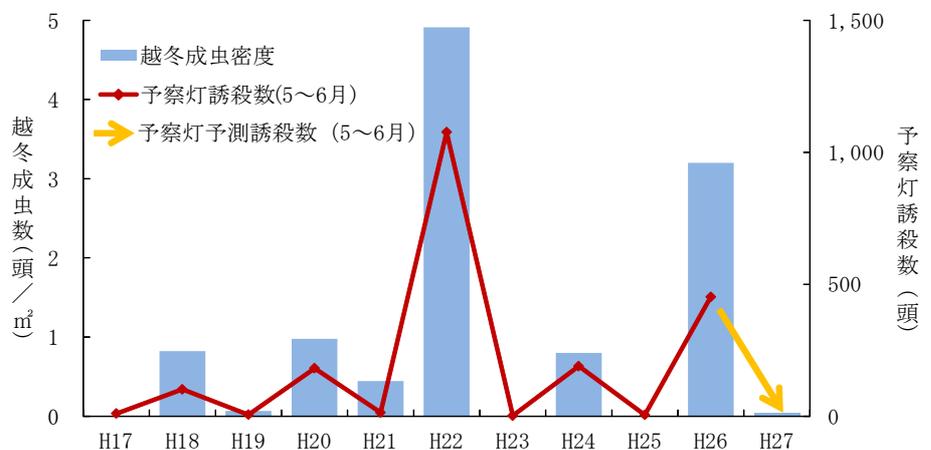


図2 チャバネアオカメムシの平均越冬成虫密度と予察灯における越冬成虫誘殺数（豊橋市）